

学志舎

岐阜市で26年の塾運営経験を活かし、
お子さまのレベルに合わせたカリキュラムを組み立て、
徹底した自律学習指導を行っています。

新学期 君たちに問う

自前のエンジンを搭載しているか？

グライダーと飛行機は遠くから見ると似ている。空を飛ぶのも同じで、グライダーが音もなく優雅に滑空しているさまは、飛行機よりもむしろ美しい。ただ、悲しいかな、自力で飛ぶことができない。学校では、ひっぱられるままに、どこへでもついていく従順さが尊重される。勝手に飛び上がったりは規律違反。たちまちチェックされる。やがてそれぞれグライダーらしくなって卒業する。グライダーとしては一流である学生が、卒業間際になって論文を書くことになる。これはこれまでの勉強といささか勝手が違う。何でも自由に自分の好きなことを書いてみよ、というのが論文である。グライダーは遠方にくれる。突如としてこれまでとまるで違ったことを要求されても、できるわけがない。言われた通りのことをするのは得意だが、自分で考えてテーマを持つと言われるのは苦手である。長年のグライダー訓練ではいつも必ず曳いてくれるものがある。

それになれると、自力飛行の力を失ってしまうかもしれない。人間には、グライダー能力と飛行機能力とがある。受動的に知識を得るのが前者、自分で物事を発明・発見するのが後者である。両者はひとりの人間の中に同居している。グライダー能力を全く欠いては、基本的知識すら習得できない。何も知らないで、独力で飛ぼうとすれば、どんな事故になるかわからない。しかし現実には、グライダー能力が圧倒的で、飛行機能力はまるでなし、という“優秀な”人間がたくさんいることも確かで、しかも、そういう人も“飛べる”という評価を受けているのである。それならグライダーにエンジンを搭載するにはどうしたらいいのか。学校も社会もそれを考える必要がある。

～外山滋比古『志向の生理学』1983年刊行より～

詳細はHPを御覧ください

春期講習会 2023

グライダーと飛行機、もうお判りでしょう。前者は指示待ち人間であり、後者は自律した人間です。「エンジンを搭載し、自由に大空を飛び回る」＝「自分で考え行動を起こすことができる」と置き換えることができるでしょう。グライダーはある程度飛ぶことができても、いずれは下降する運命です。ところが飛行機は燃料が続く限り自由に大空を飛び回れます。

これからの激流の時代を生きていく子供たちには「答えのないものに答えを出していく」力が必要です。そんな時代に、指示されたことしかできないようでは（指示されたことさえもできない人間は論外ですが…）時代に取り残されてしまうでしょう。40年前にこのような警告を出しているにもかかわらず、今もなおグライダー人間は増殖しつつあるようです。これは指導する立場の人間への警告でもあっていると思います。いかにして自前のエンジンを積んでもらうか。

さて、表面の白川君、入塾当時はグライダー人間でした。ところが試験前、長期休みの前の計画立案学習などを通じていろんなことを考え、自分なりに実行しているうちに、自前のエンジンを持つことができました。もちろんはじめは、どうしたらいいのかかわからず質問を何度もぶつけてきました。試行錯誤しながら飛行機人間となった彼のその後は体験記通りです。また彼は本当によく努力をしました。高校に入ると、土日もあるときには自習室で学習をしていました。塾の長期休みの講習会は9:10から始まります。私が30分前にエアコンを付けに教室に行くと、すでに夏は涼しく、冬は暖かくなっているのです。そう、彼が8時には教室に入り自習をしているのです。（この写真は夏期講習と冬期講習中、まだ誰も来ていない教室で撮ったものです）



ではここで、自分のエンジン度をチェックしてみてください。

- ・ 予習をしていかないと怒られるからやる
 - ・ 宿題を出されたからやる
 - ・ 春期講習前に計画を立てるよう言われたので、適当にページを割り振った。
 - ・ テストに出るからと言われたので新聞を読む
 - ・ 国語力が上がると言われたので本を読む
- ・ 明日の準備として、今わかっていることと、そうでないことを確認するためにやる
 - ・ 今日習ったことを定着させるために復習をする明日の授業内容も見ておく
 - ・ 春期講習が近づいたので、塾へ行く日を確認して宿題を含め、学習内容を整理して、自分なりに計画を立て提出した
 - ・ 新聞を読むのは習慣だ
 - ・ ベストセラーになったものは読んでみたい

あなたは完全なグライダー人間です
誰かに飛ばされているだけです

あなたは自前のエンジンを搭載した
飛行機人間です

あなたはどちらの人間でしたか？（※今の子ども達に気付いて欲しくて、昨春の話を再掲しました）

自律学習の徹底

「言われたことはきちんとこなすが、自分で考えて行動を起こすことが出来ない子が多い」と言われる昨今、学志舎は「学力」＝「学ぶ力」すなわち「自分で考えて、学習できる力」と位置づけ、徹底した自律学習指導を行うことにより、自分で考えて行動できる子どもを数多く育てています。

国語力最優先指導

22年前、学志舎は岐阜市で初めて小学生「読書コース」を創設し、国語力の強化に力を入れてきました。なぜなら、すべての教科の基本は「国語」だと考えているからです。そして、学志舎は、国語力が受験においても大きな武器となることを、その結果で証明してきたのです。

褒める教育の徹底

褒め上手な親の子は伸びる子が多い、もしくは学力が高い生徒が多いというのは、26年の経験の中で間違いありません。学志舎は20年前に岐阜県では初めてコーチングを導入し、お子さまの存在を認め、良いところを褒めることを徹底して行うことで、お子さまを大きく伸ばしています。

詳細はHPを御覧ください



勉強の習慣付けを徹底

小学部

中学・高校の6年間で花開く「基礎学力」を徹底して作るコース



朝6時オールナイト学習会終了

中学部

高校受験のための教科力と自律の養成を徹底して行うコース



合格おめでとう！

高校部

本格的な大学受験のための学力形成を徹底して行うコース

〒500-8085 岐阜市白木町92番地

【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562

【感染症対策実施中】



https://gakushisha.com/

学志舎

検索